

平成19年第4回定例会（12月）一般質問（要旨）

（2）学校教育における質の向上について

質問・宮下

学校教育に不安と関心が高まる中、月形町では小中高の各学校が特徴を持った取り組みをし、それぞれ独自に「学校だより」などで積極的に広報しているのは素晴らしいことです。ただ、学校間交流の情報はほとんどありません。加えて、私は『地域力の活用』が今後重要になると考えていますが、現状では、学校が地域と離れていっているように感じます。

そこで、教育長にお伺いします。

1. 学校間での交流や協力、情報や手法の共有はどのように行われているのか。
2. その重要度をどのように認識しているのか。また、より質の高い学校教育のための今後の施策は。
3. 『地域力の活用』をどのように考えているのか。その具体策は。

回答・教育長

1. 現在、町内の教育機関で行われている交流等の具体例（主なもの）は

[教師を中心にした交流]

- 小中教職員全員による3校交流会／教科部会
（実践発表、資質向上、悩みの共有、他）年3回
- 公開授業による研究会
- 校長会、教頭会（月1回）
- 小中高児童生徒指導連絡協議会

[子供を交えた交流]

- 小学校）合同給食、合同修学旅行
- 子供会・社会教育）リーダー研修会、ミニバレー
ボール大会、各種スポーツ講習会、他

2. 学校間および教育委員会の連携は重要だと認識している。「知・徳・体」の調和が取れた子供を育てることが目標であり、今後の取り組みとして「地域で子供を育てる環境づくり」も考えている。

3. 地域人材（地域の教育力）の活用、地域にある施設・設備の利活用は、現在も取り組んでいて成果を上げている。今後も積極的に活用していきたい。